

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	国道486号 道路改良事業に伴う業務委託(新市2期工区)
事業名 または 工事名	国道486号 道路改良事業に伴う業務委託(新市2期工区)
調査目的及び調査対象	道路 構造物基礎

ボーリング名	Bor. No. 2	調査位置	広島県福山市新市町新市	北緯	34° 33' 2.391"
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	2022年 1月 11日 ~ 2022年 1月 13日	東経	133° 16' 40.927"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者		試験機	東邦地下工機D0-B
孔口標高	T.P. 18.52m	角		方位	
総削孔長	11.21m	地盤勾配		使用機種	エンジン YANMAR NFD-12
				ポンプ	東邦BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相對密度	相對稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試験採取番号	室原位置試験	削孔月日					
												深度-N値図		N値	100mmごとの打撃回数	100mmごとの貫入量	50回の貫入量				自沈時の貫入量	試験採取方法			
	17.72	0.80		硬混じり砂		褐				表面10cm層は耕作土。全体に均質。砂はマサ様。礫は硬質円礫。	01/12 1.40														
1				細粒分混じり砂質礫		灰褐							5	1.15	2	1	5	300	1.15	2-1	⊖	軟度(ふるい)			
2				細粒分混じり砂質礫		灰褐							16	1.45	6	5	16	300	2.15	2-2	⊖	軟度(ふるい)			
3				細粒分混じり砂質礫		灰褐				全体に不均質。砂は粗砂主体。礫は長径0.2~4cm主体で硬質円礫~亜角礫が主体。			9	2.45	3	3	9	300	3.15	2-3	⊖	軟度(ふるい)			
4				細粒分混じり砂質礫		灰褐							14	3.45	5	4	14	300	3.45	2-4	⊖	軟度(ふるい)			
5	13.42	5.10		細粒分混じり砂質礫		主に褐							32	4.15	9	11	32	300	4.15						
6				細粒分混じり砂質礫		主に褐							31	5.45	10	12	31	300	4.45						
7				細粒分混じり砂質礫		主に褐				全体に不均質。砂はマサ様。礫は長径0.2~4cm主体で硬質円礫~亜角礫が主体。9.6m付近、L=12cmの硬質コアあり。10mと11mの試料は砂分が優勢。			50	6.15	16	18	50	300	4.45						
8				細粒分混じり砂質礫		主に褐							65	7.45	16	25	9	50	230	4.45					
9				細粒分混じり砂質礫		主に褐							54	8.15	18	14	50	280	8.35						
10				細粒分混じり砂質礫		主に褐							65	9.30	18	24	8	50	230	9.58					
11	7.31	11.21		細粒分混じり砂質礫		主に褐							136	10.15	18	30	50	230	10.38						
				細粒分混じり砂質礫		主に褐								110	11.40	8	10	50	110	11.21					